

第 223 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

『継続の大切さ』 ～ 視野の広さをもって 対話する場 ～

2023 年 12 月 16 日『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC(お茶の水クリスチャン・センター) 11 周年記念講演 & Christmas Concert』に赴いた(画像)。個人面談の時も与えられた。大変有意義な貴重な時となった。

『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC』は、東日本大震災の 2011 年に創設準備がなされ、2012 年に当時 OCC 副理事長であった 今は亡き榊原寛(1941-2020)先生が始められた。来年(2024 年)に、『12 周年記念誌』が編集長：山崎智子先生と編集委員：青木美由紀様、増田謙様で企画製本されることが決定された。『継続の大切さ』を実感する日々である。ただただ感謝である。

12 月 17 日は、2008 年に CAJ(クリスチャン アカデミー イン ジャパン)でスタートした『東久留米がん哲学外来・カフェ』である。

【“がんの悩みを 心おきなく話したい” お茶を飲みながら、患者さん、ご家族、お友達、医療者が対話する場です。 並行して、樋野興夫先生との個別面談を行っています。(無料・要予約)】と謳われている。 早、15 年が経過した。

その後、2007 年から始めている『読書会』(イースト サイド カフェ & ダイニング (於いて)に出席する。【新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めております。リーダーは順天堂大学名誉教授・新渡戸稲造記念センター長の樋野興夫先生です。 樋野先生のユニークでわかりやすい解説とさり気なく語られるメッセージに励まされ、人生の生きる意味をあらためて考えるひとときになります。どなたでもご参加いただけます。みなさまの参加をお待ちしております。】と紹介されている。これが、今の各地の『がん哲学外来・カフェ』に繋がった。

12 月 17 日の『読書会』の箇所は、新渡戸稲造著【『武士道』の『緒言』】である。今回の『読書会』の音読担当は木戸良江氏である。

1905 年の『緒言』で William Elliot Griffis(1843-1928) は、新渡戸稲造の『武士道』を『把握、洞察、ならび視野の広さをもって 優雅にかつ力強く書き現した』と記述している。

お茶の水がん哲学外来・メディカルカフェ
in OCC 11周年記念講演 &
Christmas Concert

2023年12月16日(土) 13時開演
会場 お茶の水クリスチャン・センター8階

音楽ゲスト
三上勝久氏 Katsuhisa Mikami

三上勝久氏
がん哲学外来・メディカルカフェ
司会進行

大嶋重徳先生
OCC 副理事長

榎野典夫先生
順天堂大学名誉教授
恵泉女学園理事長

高校時代に神に出会い人生設立。
ゴスペルシンガー兼社長として活
躍している。2002年にはアルバム
「You are Loved(愛されているか
ら)」をリリース。その後数度の癌
闘病を経験し、2012年には5枚目
のアルバム「聴病者の言い訳」を
リリース。その迫力ある魂の叫び
は人々の心に直接語りかけてい
る。アルバム「聴病者の言い訳」
に続き、「いっぱい!いっぱい!」
をリリースしている。

<参加費無料・事前にお申し込みください>
*人数制限はございません、当日ご参加も可能です
お申し込み方法 mail もしくは FAXでお申し込みください。
Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com
Fax: 03-3296-1010
*お申込み時に必ずお名前と当日に連絡のつく
お電話番号をお知らせください。

がん哲学外来へようこそ

The Cancer Philosophy Cafe will meet 1-3 pm This Sunday (12/17) in the CAJ Multi purpose room, followed by the Book discussion group at 3-5pm at the East Side Cafe.

今週の日曜日、12月17日、がん哲学カフェが 1-3 pm CAJ Multi Purpose Roomであります。

その後、読書会がEast Side カフェにて3-5pmにあります。



YORISOU

Please contact Okio or Jean Hino for further information!
詳細は榎野先生かJeanさんにお尋ね下さい!